

世界金融ハイブリッド証券ファンド2014-03 (為替ヘッジあり/限定追加型)

運用報告書 (全体版)

第5期 (決算日 2016年9月26日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/その他資産 (ハイブリッド証券)
信託期間	2014年3月28日から2017年3月24日までです。
運用方針	世界の大手金融機関が発行するハイブリッド証券 (優先証券および劣後債) を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。アムンディ アセットマネジメントに運用の指図に関する権限の一部または全部を委託します。
主要運用対象	世界の大手金融機関が発行するハイブリッド証券 (優先証券および劣後債)
組入制限	株式等への投資割合は投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時 (年2回、原則毎年3月25日および9月25日。休業日の場合は翌営業日) に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。収益分配金額は、分配対象額の範囲で委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

お客様サポートライン 0120-202-900 (フリーダイヤル)

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス: <http://www.amundi.co.jp>

世界金融ハイブリッド証券ファンド 2014-03 (為替ヘッジあり/限定追加型)

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分	込 配	み 金	期 騰 落	中 率	債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
(設 定 日) 2014年 3月28日	円 10,000			円 -		% -		% -	百万円 5,494
1 期 (2014年 9月25日)	10,130			100		2.3	96.6		5,952
2 期 (2015年 3月25日)	10,229			100		2.0	96.2		5,271
3 期 (2015年 9月25日)	10,148			75		△0.1	93.3		4,397
4 期 (2016年 3月25日)	10,000			50		△1.0	81.3		3,777
5 期 (2016年 9月26日)	10,110			0		1.1	72.9		2,858

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額 (10,000円)、純資産総額は設定元本を表示しております。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

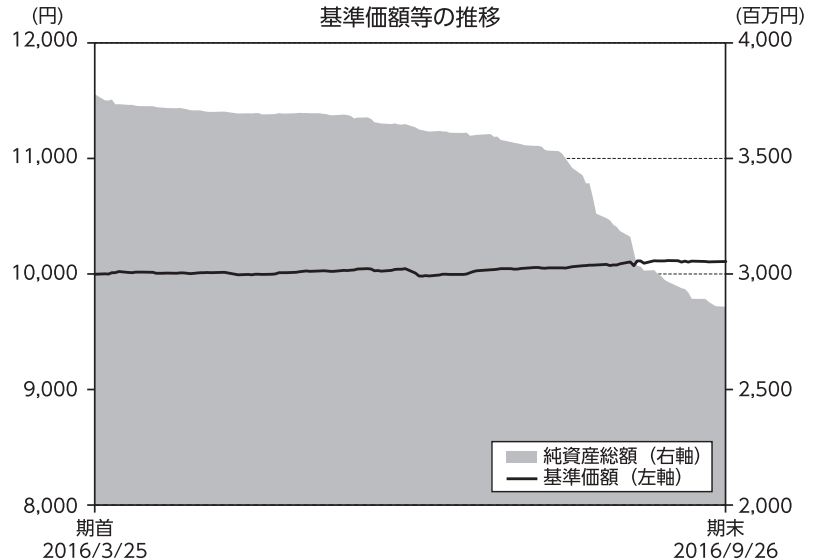
■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比	券 率
(期 首) 2016年 3月25日	円 10,000	% -		% 81.3
3 月末	10,012	0.1		82.5
4 月末	10,013	0.1		72.7
5 月末	10,030	0.3		71.0
6 月末	9,987	△0.1		58.8
7 月末	10,051	0.5		62.1
8 月末	10,114	1.1		68.9
(期 末) 2016年 9月26日	10,110	1.1		72.9

(注) 騰落率は期首比です。

【基準価額等の推移】

第5期首	10,000円
第5期末	10,110円
既払分配金 (税込み)	0円
騰落率	1.1%



【基準価額の主な変動要因】

上昇要因

- ① 2016年7月以降、BOE（英国中央銀行）の量的緩和に対する市場の期待が広がり、8月に金融緩和策が決定されたこと
- ② 期を通してハイブリッド証券からインカムゲインを得たこと

下落要因

- ① 2016年6月後半に、英国の国民投票でEU（欧州連合）離脱が決定したことで、リスク回避の動きから他のリスク資産同様、ハイブリッド証券の価格が下落したこと
- ② 2016年8月後半に、保有するBBVAが繰上償還を見送ると発表したことでハイブリッド証券の価格が下落したこと
- ③ 期を通して、長期的な超低金利・マイナス金利環境が収益を圧迫するとの見方から銀行セクターが圧迫されたこと

【投資環境】

＜世界ハイブリッド証券市場＞

2016年3月から4月にかけて、ECB（欧州中央銀行）が包括的な緩和策を発表したことなどで市場のセンチメントが回復し、その後もハイブリッド証券（優先証券および劣後債）の価格は安定的に推移しました。しかし、6月23日に行われた英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票の結果を受けて、政治・経済情勢への先行き不透明感が高まり、リスク回避姿勢が強まったことから、他のリスク資産同様、世界ハイブリッド証券市場も下落しました。金融セクターは、イタリアの金融機関の不良債権問題、金融債がECBの社債購入プログラムの投資対象ではないこと、長期的な低・マイナス金利環境が銀行の収益を圧迫するとの見方などから下落しましたが、その後は反発しました。8月になると、投資家の利回り追求の動きが見られ、中でも英国の発行体のクレジットスプレッド（国債との利回り格差）はBOEの量的緩和プログラムに対する市場の期待を背景に縮小を続けました。このような中、BBVAとバンク・オブ・ニューヨーク・ Mellonが、現在の起債が容易な環境や、繰上償還を見送ることによる風評リスクをおしてもなお、現状の低金利水準で変動金利払いに切り替える経済的利益から、旧型優先証券の繰上償還をそれぞれ1銘柄ずつ見送る決定をしました。9月には、ドイツ銀行が過去のMBS（モーゲージ担保証券）の不適正販売をめぐり、米国司法省から史上最高額となる和解金を求められたことなどで同行の業績に対する不安が高まり、市場心理の重しとなりました。

欧州の金融機関に対する規制については、スイスでは既に発行されている銀行のCoCo債（偶発転換社債）の一部が、資本算入を認められる期限が定められたことが公表され、期限以降は資本として認められなくなりました。また、スウェーデン政府がAT1債などの劣後債に対する税控除を廃止する計画についてあらためて言及しました。

【ポートフォリオ】

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。また、外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

当期は、英国のEU離脱を問う国民投票の前に、英国の銀行の保有率を引き下げするための入れ替えを行いました。英国のEU離脱決定以降、欧州の金融機関を取り巻く環境の不透明感の強さなどを鑑み、リスク低減を目的とした入れ替えを行いました。また、6銘柄が繰上償還しました。

（アムンディ アセットマネジメント）

【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます（分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【今後の運用方針】

米大統領選やイタリアの国民投票など政治的なイベントを控え、ボラティリティ（価格変動性）の上昇が市場の重しとなる状態が続くと考えており、ユーロ圏全体への影響について注視を続けます。

低金利環境下において相対的に高い水準の利回りを提供するハイブリッド証券は引き続き投資妙味があります。旧型のハイブリッド証券は新規の供給がないため流動性は非常に限定的ではありますが、引き続き市場を注視し投資機会を追求します。

（アムンディ アセットマネジメント）

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第5期 (2016年3月26日 ～2016年9月26日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	84円 (41) (41) (2)	0.838% (0.411) (0.411) (0.016)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	2 (1) (1) (1) (0)	0.023 (0.009) (0.005) (0.006) (0.002)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	86	0.861	

期中の平均基準価額は10,034円です。

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 期中の売買及び取引の状況（2016年3月26日から2016年9月26日まで）

ハイブリッド証券等

		買 付 額	売 付 額
外	ア	千米ドル 3,059	千米ドル 2,172 (375)
	メ		
	リ	千ユーロ -	千ユーロ -
	カ		(2,000)
国	ユ	1,017	-
	ド		917
	イ		-
	ツ		(193)
	イ	千英ポンド -	千英ポンド 434 (2,656)
	ギ		
	リ		
	ス		

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

世界金融ハイブリッド証券ファンド 2014-03（為替ヘッジあり／限定追加型）

■主要な売買銘柄（2016年3月26日から2016年9月26日まで）

ハイブリッド証券等

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
BACA 7.25 02/15/17	236,822	STANLN 6.409 01/29/49	219,488
CNFPF VAR 12/29/49	117,636	BBVASM 4.952 09/29/49	105,466
ACAFP 6.637 05/29/49	41,719	COVBS 6.092 06/29/49	60,087
RABOBK 5.254 12/29/49	31,252		

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 単位未满是切捨てです。

(注3) 金額は、外貨額を約定日の属する月の月末（決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

■利害関係人との取引状況等（2016年3月26日から2016年9月26日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
公 社 債	百万円 427	百万円 —	— —	百万円 385	百万円 —	— —
為 替 先 物 取 引	6,864	2,340	34.1	6,442	2,336	36.3
為 替 直 物 取 引	186	—	—	618	—	—

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

(2) 当期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	— 千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	— 千円
(B) / (A)	— %

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはクレディ・アグリコル銀行です。

■組入資産の明細（2016年9月26日現在）

公社債

(A) 公社債種類別

ハイブリッド証券等

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
米 ド ル	千米ドル 13,213	千米ドル 13,162	千円 1,326,123	% 46.4	% -	% 38.1	% -	% 8.3
ユ ー ロ	千ユーロ 4,150	千ユーロ 4,168	471,623	16.5	-	16.5	-	-
英 ポ ン ド	千英ポンド 2,169	千英ポンド 2,196	287,290	10.1	-	10.1	-	-
合 計	-	-	2,085,037	72.9	-	64.7	-	8.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 単位未満は切捨てです。

(注4) -印は組入れなしです。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(B) 公社債銘柄別

ハイブリッド証券等

銘 柄	当 期 末					
	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日	
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(米ドル)	%	千米ドル	千米ドル	千円		
ACAFF 6.637 05/29/49	6.637	3,400	3,409	343,505	2049/5/29	
BACA 7.25 02/15/17	7.25	2,300	2,341	235,889	2017/2/15	
BACR 5.926 09/29/49	5.926	800	794	80,080	2049/9/29	
RABOBK 5.254 12/29/49	5.254	1,413	1,415	142,583	2049/12/29	
RBS 7.64 03/29/49	7.64	2,500	2,430	244,877	2049/3/29	
STANLN 6.409 01/29/49	6.409	1,000	949	95,611	2049/1/29	
SUMIBK 6.078 01/29/49	6.078	1,800	1,822	183,575	2049/1/29	
小 計				1,326,123		
(ユーロ)		千ユーロ	千ユーロ			
CNPPF VAR 12/29/49	4.75	2,400	2,414	273,197	2049/12/29	
BBVASM 4 1/2 02/16/22	4.5	500	503	57,008	2022/2/16	
MUFG 5.271 01/29/49	5.271	350	355	40,217	2049/1/29	
RBS 7.0916 10/29/49	7.0916	900	894	101,198	2049/10/29	
小 計				471,623		

世界金融ハイブリッド証券ファンド 2014-03（為替ヘッジあり／限定追加型）

銘柄	当 期 末					償還年月日
	利 率	額 面 金 額	評 価 額		外 貨 換 算 金 額	
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(英ポンド)	%	千英ポンド	千英ポンド	千円		
DANBNK 5.563 03/29/49	5.563	519	525	68,706		2049/3/29
DANBNK 5.6838 12/29/49	5.6838	1,200	1,214	158,849		2049/12/29
MUFG 6.299 01/29/49	6.299	450	456	59,734		2049/1/29
小 計				287,290		
合 計				2,085,037		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

■投資信託財産の構成（2016年9月26日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円	%
	2,085,037	71.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	825,346	28.4
投 資 信 託 財 産 総 額	2,910,383	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産（2,765,342千円）の投資信託財産総額（2,910,383千円）に対する比率は95.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2016年9月26日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=100.75円、1ユーロ=113.14円、1英ポンド=130.78円です。

世界金融ハイブリッド証券ファンド2014-03（為替ヘッジあり／限定追加型）

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2016年9月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	5,651,579,170円
コール・ローン等	738,880,939
公社債(評価額)	2,085,037,575
未収入金	2,775,840,626
未収利息	47,164,648
前払費用	4,655,382
(B) 負 債	2,793,176,096
未払金	2,741,195,950
未払解約金	22,073,897
未払信託報酬	29,496,770
未払利息	287
その他未払費用	409,192
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	2,858,403,074
元 本	2,827,267,544
次期繰越損益金	31,135,530
(D) 受 益 権 総 口 数	2,827,267,544口
1万口当たり基準価額 (C / D)	10,110円

(注記事項)

期首元本額	3,777,354,604円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	950,087,060円

■損益の状況

当期 自2016年3月26日 至2016年9月26日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	64,915,386円
受 取 利 息	64,920,705
そ の 他 収 益 金	1,838
支 払 利 息	△ 7,157
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 5,494,224
売 買 益	539,917,156
売 買 損	△545,411,380
(C) 信 託 報 酬 等	△ 30,294,744
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	29,126,418
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	3,155,103
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,145,991
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,145,991)
(G) 計 (D + E + F)	31,135,530
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	31,135,530
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,145,991
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,145,991)
分 配 準 備 積 立 金	185,490,616
繰 越 損 益 金	△153,209,095

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用
信託約款第40条に規定する計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年10,000分の75の率を上限として乗じて得た額を支払っております。

■分配金のお知らせ

当期の分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

【分配原資の内訳】

（単位：円・1万口当たり・税込み）

項目	第5期
	(2016年3月26日～2016年9月26日)
当期分配金	—
（対基準価額比率）	（—%）
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	656

（注1）「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

（注2）「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。